

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和3年11月1日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	組織因子経路インヒビター-2 (TFPI2)
検査コード	0694
JLAC10	5D115-0000-023-023-01
診療行為コード	160226250
検体量	血清 0.5mL
保存・容器	必凍・A1→A2
実施料(判断料)	190点(生化Ⅱ)
所要日数	4～6日
検査方法	EIA法
基準値	191.0 pg/mL 未満(明細胞癌の判別カットオフ値: 270 pg/mL)
実施施設	ビー・エム・エル

保険収載名称: 組織因子経路インヒビター-2 (TFPI2)

保険注釈: ア 本検査は、EIA法により測定した場合に算定できる。

イ 本検査は、腫瘍マーカーの注1及び注2の規定に準ずる。

《 解 説 》

卵巣がんに対する腫瘍マーカーは、CA125 やCA19-9 など複数マーカーの組み合わせによる診断が推奨されています。CA125 は代表的な卵巣がんのマーカーではありますが、卵巣明細胞がんにおける感度は低く、月経や腹膜炎、子宮内膜症を含む良性腫瘍などでも変動する場合があります。

本項目は、健常人や良性腫瘍ではほとんど上昇せず、カットオフ値を設定することで卵巣悪性腫瘍全般の検出、また CA125 を補う項目として、診断・治療・経過観察に有用であると期待されます。

《 注 意 》

- 1.妊娠時は高値となるため、妊婦に対する検査には適しません。
- 2.必ず「A1 容器」に採血してください。採血後は、十分に転倒混和し凝固状態を確認してください。
(凝固が不十分の場合、高値を示すことがあります。)
- 3.凝固後、長時間の放置により測定値が徐々に低下する場合がありますので、速やかに遠心分離し、血清を「A2 容器」に入れ、凍結してご提出ください。